



令和4年度「教職を語ろう」実施報告書

I 事業の概要

1. 期日 令和5年2月21日(火) ※日帰り

2. 日程

9:00	受付
9:30	出合いの集い
9:45	演習:学級づくりに役立つ仲間づくりレクリエーション 講師:船上山少年自然の家 山下孝治 係長
11:15	講義:「これからの教師(集団)に求められる力 ～鳥取県のいじめ・不登校の現状から～」 講師:いじめ・不登校総合対策センター 定常博文 センター長
12:30	昼食
13:30	講義:「皆で考えよう教員採用試験問題」 講師:倉吉市立東中学校 加嶋慎一 校長
14:45	若手先輩教師からのメッセージ 「私の体験談より～教職をめざす皆さんに伝えたいこと～」 講師:倉吉市立高城小学校 平野尚基 教諭 倉吉市立社小学校 谷岡景子 教諭
16:15	グループ討議「なぜ教職をめざすのか」
17:00	振り返り・感想記入
17:30	夕食
18:30	解散



3. ねらい 今日求められる教師像について理解を深め、「教職」という同じ志を持つ参加者同士が思いを語り合うことで、自らの将来へ展望を抱く。

4. 対象 教職を志す学生及び一般 20名程度

5. 応募者数 14人

6. 参加者数 13人

7. 参加費 1,700円(食費、保険料等)

8. 外部講師

定常 博文(いじめ・不登校総合対策センター長)

加嶋 慎一(倉吉市立東中学校校長)

谷岡 景子(倉吉市立社小学校教諭)



II 実施状況

雪が降る寒さの中、3年ぶりに開催された「教職を語ろう」に13名の参加者たちが集合した。

出合いのつどい後、振り返り活動(Being)の記入と、「学級づくりに役立つ仲間づくりレクリエーション」を行った。はじめは緊張した面持ちだったが、レクリエーションの活動が進むごとに笑顔が増え、少しずつ緊張がほぐれていく様子を感じられた。

午前の講師、定常センター長は、教師が一人の人間として自己開示をすることの大切さについて話され、鳥取県のいじめ・不登校の現状を通して、これからの教師集団に求められる力について考えさせられる内容であった。「どうしたの?」「心配だよ。」など、場面に応じた声掛けの仕方なども教えていただき、学び多き時間となった。

午後の加嶋校長先生の講義では、教員採用試験に関わっておられた経験をもとに、実際に面接でこんなことを聞いた、こんなことが大事など、教員採用試験に向けての大切なポイントをたくさん聞くことができた。教師を志す学生にとって、内容がとても濃く、刺激的な講義であった。

「若手先輩教師からのメッセージ」では、平野指導員からは、「雑談しよう、楽しみを見つけよう」というワークライフバランスの視点で、谷岡先生からは日々の授業の大切にするという視点で、それぞれの先生の大切にしていることが感じられる楽しい雰囲気のひとときとなった。

グループ討議では、3グループに分かれ意見を交わし合った。「自分に足りない力」「教師の魅力ベスト3」などのテーマに沿って、自分の思いを語り合う時間となった。

日帰り開催でタイトな時間設定ではあったが、教職を目指す仲間同士の交流もでき、和やかな雰囲気の中、すべての日程を終えた。

Ⅲ 総括

1. 参加者の感想(抜粋)

- ・ 一日を通して教職について、また、自分の将来像、目指したい教師像を考えることができました。
- ・ 今回、実際に教育現場で働く先生方や、大学生と交流することで教師になりたいという気持ちがさらに大きくなりました。
- ・ なぜ教師になりたいと思ったのか、どのような教師になりたいのかという、初心に帰ることで、教員採用試験の勉強をがんばろうと思いました。

2. 成果

- ・ 各講師の先生方の話の内容がとても濃く、教師を志す参加者にとって、学び多きものであった。
- ・ コロナ禍での開催で、日帰りとなったが、3年ぶりに実施でき、参加者数も前回並みに集まった。学びもあり、教師を志す仲間同士と交流もできる良い機会となった。

2. 課題

- ・ 同時期に同様の内容の事業が、他でも行われている。他とは違う学びがあるという特色化と広報の工夫も必要になってくる。

